

# ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

平成27年度  
実施結果

使い道を定めずに皆様から寄せられた「ふるさと納税寄付金」は、以下の事業に活用させていただきました。



平成27年1月から12月までに寄せられた寄付

件数

163件

寄付金額

7,922,000円

「ふるさと福井」への応援を  
ありがとうございました。



## 1 子どものための音楽鑑賞推進事業

寄付金  
活用額 4,922千円

### 主な事業内容

県内の全ての小学5年生を対象に、県立音楽堂でプロのオーケストラによる「オーケストラとのふれあいコンサート」を開催

### 児童生徒の感想

- オーケストラの演奏はとても迫力がありました。
- 音楽の授業で聴いたことのある曲もありましたが、CDとは全く違った感じがしてやっぱり生の演奏はいいなあと思いました。
- パイオルガンやハーブなど様々な楽器の演奏があり、自分でも弾いてみたいと思いました。

### 県担当者の意見

- 子どもたちの多くは本格的なクラシックコンサートを鑑賞するのは初めてで、貴重な経験になっています。
- 本物のプロのオーケストラの演奏を聴くと、事前学習としてCDで聴いている子どもたちはその違いに驚いていました。
- 今後も、子どもたちが文化芸術に触れることのできる事業を実施します。



## 2 芸術教育推進事業

寄付金  
活用額 1,000千円

### 主な事業内容

- 小・中の弦楽推進校を設け、バイオリン・ビオラ・チェロを貸与
- 小・中・高の弦楽推進校にプロ奏者を派遣し技術指導を実施
- 児童・生徒、指導者が一流の弦楽奏者の演奏を聴いたり、指導を受けたりする機会を確保

### 推進校児童・生徒の感想

- 何回もコンサートに出るうちに少しずつ緊張しなくなり、今では全校の前であいさつやスピーチをすることもできるようになって、「弦楽クラブに入ってからすごく活発になったね」と母にも言われます。楽器を使わせてくださってありがとうございます。
- 最初は不安でいっぱいでしたが、回数を重ねるごとに弦楽器の美しい響きを感じることができるようになり、楽しみながら練習を続けられました。県庁ホールで発表できたことは、私たちの自信につながりました。



### 県担当者の意見

- 県内4地域12校の推進校が学校の特色を生かしながら、校内の発表会や地域の行事で演奏する機会が増えました。
- 複数の学校が集まって練習したり演奏したりする機会が増え、子どもたちが大人数で演奏する楽しさを実感しています。
- 一流の弦楽奏者との交流や指導を通して、子どもたちが夢や希望を持って練習に取り組めるようになっています。

## 3 「ふるさと学びの森」ネットワーク事業

寄付金  
活用額 2,000千円

### 主な事業内容

平成28年2月に、県内の里山に触れ、親しみ、学ぶ活動を行う団体およびその活動場所を「ふるさと学びの森」として新たに30か所登録しました。これまで活動を行っていた若狭、あわら、奥越の3エリアとあわせた33か所で、年間を通して楽しみながら里山と人の暮らしとの関わり、里山の大切さを感じていただくイベントや活動を行っています。

### 県担当者の意見

「ふるさと学びの森」のネットワーク化を図ることで、より気軽に里山に触れ、親しむ機会を提供してまいります。

